

愛媛県 公立高校の入試制度

【2024年度版】

選抜概要

- 愛媛県の公立高校入試は、推薦選抜と一般選抜の2回あります。

	出願期間	志願変更	入試日	合格発表日
推薦	1/22(月)~29(月)	-	2/8(木)	2/14(水)~15(木)
一般	2/15(木)~21(水)	2/22(木)~29(木)	3/7(木)・8(金)	3/18(月)

- 出願は、原則1校1学科に限ります。
ただし、一般選抜においては、農業・工業・商業・水産に関する各学科に属する小学科では第2志望まで出願が可能です。また、理数科または国際文理科を志望する場合に、普通科を第2志望として出願することが出来ます。
- 普通科の通学区は、原則として東予区・中予区・南予区の3学区に分かれています。

推薦選抜

- 全日制の全ての学科で実施します。
推薦選抜は、当該学校・学科を志望する動機や理由が明白で適切であり、適性及び興味・関心がある者、また、人物が優れており、調査書の記録が良好で、当該学校・学科における学習活動に成果が期待できる者等を対象とした選抜です。
その他、a 特別活動で優れた実績を有する、b 校内外のスポーツ活動・文化活動・奉仕活動等で熱心な活動が見られる、または優れた成果を上げている、c (理数科・国際文理科・職業教育を主とする学科を志願する者対象) 調査書の各教科の学習の記録のうち、それぞれの学科に関連した教科において秀でていること等を満たす必要があります。
- 募集人員は下記の範囲内で各学校により決定されます。
 - ・普通科, その他普通科, 理数科, 国際文理科, 普通科とのくくり募集をする学科
…募集定員の5%~15%
 - ・職業教育を主とする学科, 総合学科…募集定員の20%~30%

●選抜資料

検査	学校の採択により、「作文・小論文」から一つまたは両方、「面接・集団討論」から一つまたは両方の合わせて2つ以上を実施。
実技	2024年度実施…今治工業（繊維デザイン科）、松山南砥部分校（デザイン科）
報告書	推薦書, 調査書
その他	自己アピール書

- 上記の資料を用いて、学科の特色を踏まえて総合的に判断し、合格者を決定します。

一般選抜

- 全日制の全ての学科で実施します。
募集人員は、募集定員からその学科の推薦入学確約者数を差し引いた数になります。
なお、くくり募集をする学科では、その募集の単位を1学科とみなします。
出願した学校・課程・学科を1回に限り変更することができます。

●選抜資料

学力検査	国語(作文を含む)・数学・英語・理科・社会 (国45分+作文25分, 数・理・社各50分, 英60分, 各50点) ・特定の学科で傾斜配点を行うことができる。 理数科…数学と理科の得点を1.5倍にし, 5科合計300点満点 総合学科…5科の中で得点の高い2科を1.5倍にし, 5科合計300点満点
実技	2024年度実施…今治工業(繊維デザイン科), 松山南砥部分校(デザイン科)
面接	志願者全員が面接を実施する
報告書	調査書「各教科の学習の記録」の9科の評定: 1~3年の評定=135点満点 学習成績等一覧表

- 上記の資料を用い, その学校・学科の特色を踏まえて, 教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜を行います。

一般選抜②

●選抜方法

次の第1選抜, 第2選抜の順に選抜します。

○第1選抜

- ・入学志願者の調査書点の高い順に, 募集人員の90%程度以内の人数を選定
- ・その中で, 調査書の記録や面接・実技テストの結果が良好な者を対象に, 学力検査の成績の上位順に募集人員の70%程度の合格者を選抜。

※この時, 農業・工業・商業・水産に関する各学科や, 理数科または国際文理科においては, その学科を第1志望とする者を対象とします。

○第2選抜

- ・第1選抜で選抜されなかった全ての入学志願者を対象に,
「学力検査の成績に基づく得点(A)」
「調査書点に基づく得点(B)」
「調査書の各教科の学習の記録以外の記録, 面接・実技テストの評価に基づく得点(C)」
以上の, A・B・Cを用いて, 募集人員の30%程度の合格者を選抜。
- ・A+B+Cの合計は500点満点とする。
また, A・B・Cの満点の比率は各学校により決定されるが, A=3~6, B及びC=2~4の範囲とし, A+B+Cは10となるように定める。

※この時, 農業・工業・商業・水産に関する各学科や, 理数科または国際文理科を置く普通科においては, その学科を第2志望とする者も対象とします。